

令和8年度 国語科年間指導計画【第1学年】

月	単元・題材・教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	ICT活用
言葉に出会うために					
4	「朝のリレー」 「野原はうたう」	・声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。		・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	
1 学びをひらく					
	「はじまりの風」	・図などを使って、心情の変化を整理している。	・場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	・場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。	PC
	季節のしおり 春	・作品中の「春」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	
	言葉1 音声の仕組みや働き	・日本語の音声は母音と子音で構成されることや、アクセント・イントネーションによって意味や調子が変わることなどを理解している。		・声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。	
	漢字1 漢字の組み立てと部首	・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
2 新しい視点で					
5	「ダイコンは大きな根？」	・本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	・「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。	・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。	
	「ちょっと立ち止まって」	・筆者の主張と事例との関係を理解している。	・序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	
	情報整理のレッスン 比較・分類	・情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。		・情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に	
	情報を整理して説明しよう	・集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	・目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明に必要な情報を取捨選択している。 ・わかりやすく説明するために、まとめ方や順序を工夫している。	・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。	PC
	言葉2 「指示する語句と接続する語句」	・例を基に、指示する語句と接続する語句の種類や働き、使われ方などについて理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。	
3 言葉に立ち止まる					
6	空の詩 三編 詩の創作教室	・詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。	・詩に描かれている情景を想像し、具体的な叙述を取り上げて表現の効果を考えている。 ・自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。 ・読み手の助言から、創作した詩のよい点や改善点を理解している。	・詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。	
	言葉3 さまざまな表現技法	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、具体的な言葉挙げて指摘している。		・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。	
	比喩で広がる言葉の世界	・文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。	・各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	・進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。	
	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	
	書写 小学校の学習を振り返ろう 楷書の書き方を確かめよう	・小学校での学習を振り返り、自分の書き方を見直している。 ・楷書の書き方を理解している。			実物投影機
	情報収集の達人になろう	・考えを述べる際に、その考えを支える理由や事例が必要なことを理解している。 ・本やインターネットで調べた情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方を理解している。	・調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。 ・読み取った情報を基に、自分の考えを書いている。	・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。	PC
いつも本はそばに					
	読書を楽しむ	・さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいもの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。		読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	
	季節のしおり 夏	・作品中の「夏」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	

月	単元・題材・教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	ICT活用
4 心の動き					
7	「大人になれなかった弟たちに…」	・戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。	・描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。	・登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。	
	「星の花が降るころに」	・場面や描写の結び付きを、図などを用いて整理・比較している。	・場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。	・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	
	項目を立てて書こう 案内文を書く	・情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。	・伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理している。 ・相手が必要とする情報を明確に伝えるために、案内文の構成を考えて書いている。	・必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。	
	話の構成を工夫しよう 情報を整理して書こう(弁論原稿の作成)	・声の大きさ、話す速さ、間の取り方などについて理解を深めることができている。 ・集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	・聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。 ・聞き手の反応を見ながら、伝えたいことがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話している。	・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。	
8 ・ 9	【推敲】読み手の立場に立つ	・正確でわかりやすい表現に書き改めている。	・読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。	・粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。	
	言葉4 方言と共通語	・共通語と方言の役割や特徴について理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	
	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	・話す速度や声の大きさ、言葉の調子や間の取り方などに注意しながら話している。	・話し手の話に耳を傾け、質問のしかたを工夫しながら対話をし、話を十分に引き出している。	・進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。	
	漢字2 漢字の音訓	・漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
5 筋道を立てて					
10	『言葉』をもつ鳥、ジューカワ	・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解している。	・文章の構成や展開の効果について、根拠となる段落や部分を挙げて考えを書いている。	・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	PC
	書写 行書の書き方を学ぼう	行書の点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書いている。			実物投影機
	思考のレッスン 意見と根拠	・適切な根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。		・根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。	
	根拠を示して説明しよう 資料を引用して報告する	・情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。	・集めた資料やデータを根拠として明確に示しながら、自分の考えを書いている。 ・読み手の助言をもとに、引用のしかたや根拠の明確さなどについて、よい点や改善点を見いだしている。	・根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。	PC
	文法への扉2 言葉の関係を考えよう	・「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」について、理解を深めている。		・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	
	音読を楽しもう 大阿蘇	・詩の朗読を聞いて、それぞれの言葉がどのように使われているかを考えている。		・進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。	
季節のおしり 秋	・作品中の「秋」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。		
6 いにしへの心にふれる					
11	古典の世界 音読を楽しむ いろは歌	・小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。 ・言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。		・積極的に古文を繰り返して音読し、3年間の学習の見通しをもって、古典の世界に親しもうとしている。	PC
	蓬葉の玉の枝 - 「竹取物語」から	・音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。	・文章を読み、登場人物の思いや行動、現代との共通点や相違点について考えを深めている。	・進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。	PC
	「今に生きる言葉」	・文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解して音読している。	・「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味で使われるようになったか説明している。 ・故事成語と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	PC
	書写 書き初めをしよう	・行書の点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書いている。		粘り強く字形を整えて積極的に作品を仕上げようとしている。	実物投影機

月	単元・題材・教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	ICT活用
7 価値を見いだす					
12	「『不便』の価値を見つめ直す」	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を述べるときには、根拠が必要であることを理解している。 情報の整理のしかたを理解し、本文を要約したり引用したりしながら、自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 文章を読んで理解したことに基づいて、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いて 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。 	
	(話し合い(進行))進め方について考えよう 話題や展開を捉えて話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を述べたり、前の人の意見を受けたりして話すことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画を視聴し、話題や展開を捉えながら話し合うための工夫について、自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。 	PC
	季節のしおり 冬	<ul style="list-style-type: none"> 作品中の「冬」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 		<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 	
8 自分を見つめる					
1	「少年の日の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> 行動描写や情景描写、心情を表す言葉に着目している。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 登場人物のものの見方について、自分の考えをもっている。 読み深めたことを基に、別の人物の視点から出来事や心情を捉え直して、作品を書き換えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 	
	文法への扉3 単語の性質を見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> 「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。 		<ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。 	
	2 「二十歳になった日」	<ul style="list-style-type: none"> 心情を表す語句や表現に着目し、感じたことを言語化している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の具体的な記述を挙げながら、構成の工夫や表現の効果について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。 	
	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	<ul style="list-style-type: none"> 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み手に状況がイメージできるように、書内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。 体験に基づいて自分の考えを伝えるために、書き出しや結び、描写を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 	
	書写 書いて味わおう	<ul style="list-style-type: none"> 楷書や行書の書き方など、これまでの学習を理解して書いている。 			実物投影機
3	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理解しようとしている。 	
	一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	<ul style="list-style-type: none"> 情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすく資料にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の反応を踏まえて、考えがわかりやすく伝わるように、用いる言葉を工夫して話している。 「観点」に見合った情報を集めて整理し、発表の要点を資料に書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点を資料にまとめ、発表しようとしている。 	PC
	ぼくが ここに	<ul style="list-style-type: none"> 詩に用いられている表現の技法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現や表現技法に着目して読み深めたことを基に、作者の思いを想像し、考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。 	

教材や単元の特色、進捗状況等によって変更となる場合があります。

※ 漢字については、知識・技能の観点から、「学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読んでいる。」「学年別漢字配当表の漢字のうち、900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。」と評価規準を設定し、年間を通して学習に取り組めるようにします。